

令和元年度第1回淀川区区政会議

日 時：令和元年8月8日（木）

午後6時30分～午後8時36分

場 所：淀川区役所5階

501・502会議室

○久保政策企画課長

それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和元年度第1回淀川区区政会議を始めさせていただきます。

私は、本日の進行役を務めさせていただきます、淀川区役所政策企画課長の久保と申します。よろしくお願いいたします。

委員の皆様方には御多用のところ御出席いただきまして、まことにありがとうございます。

それでは、開会に際しまして、区長の山本より御挨拶申し上げます。

○山本淀川区長

皆さん、こんばんは。ただいま御紹介いただきました区長の山本でございます。

皆様方におかれましては、今年度4月、7月の選挙を初めといたしまして、地域の皆様方には大変お世話になっております。そしてまた、今日も三国地域では夏祭り、されているかと思えますけども、そうした大変お忙しい中に区政会議にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

これまで、区政会議につきましては、大変、厳しい意見をいただいております。「区役所からの説明の時間が長過ぎる」とか、また、「言った意見がどのように反映されているのかがよくわからない」でありますとか、「目標に対する達成状況が明確でないから評価もできない」とか、「決まったことの報告を受けるのではなく、決ま

る前に意見を聞くべきじゃないか」でありますとか、「部会と違い、全体会議は大人数なので、ちょっと意見が言いにくい」等々でございます。

私どもといたしましては、いただきました御意見、もっともだなというふうに思いまして、まだまだ十分ではございませんけれども、少しずつ改善に努めさせていただいているところでございますので、どうか御理解、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

そしてまた、本来は最後の報告事項のところでも申し上げるべきこともわかりませんが、ちょっと私から、まだ資料の確認もしてない中で申しわけないんですけど、1点報告をさせていただきたいと思います。

皆様方の委員名簿等の後のところで、ちょっと日付が入ってないんですけども、「避難所となる中学校体育館へのエアコン整備設置追加校の選定について」という文書があるかと思えます。安全・環境・防災部会長、危機管理監から各区長宛の文書でございます。ちょっとわかりにくいかもわかりませんが。

これは何かといいますと、今、大阪市のほうで、各区中学校1校について、体育館にエアコンを設置しようということで進められておりました。これは、災害がありますと、淀川区ですと、27カ所に、小・中・高で避難所を設置するわけですけども、だんだんそれが、時が過ぎてくると、自宅に帰られる方もいらっしゃいますし、別のところに行かれる方もいるということで、だんだん避難者は少なくなってくる。避難者が少なくなってくると、小学校全部じゃなくて、その校区の中学校にそれを集約しようとかいうことになってきます。そしてまた、最終的には、6中学校じゃなくて、もう淀川区の中で1カ所、最終的な避難所を設置しようということで、各区、そういう拠点避難所、一番最後に残る避難所として、中学校一つ、決めていこうというような動きになっております。そして、その拠点の避難所になる最後の中学校ということになりますと、そこに入っておられる方は、避難生活もかなり長期化しているということで、これは空調が必要だろうということで、エアコンを設置しようというこ

とになっておりました。

6 中学の中でどこに設置するかについては、2 つ条件がございまして、都市ガスが使えなくても LP ガスでもいけるようにということで、かなり大がかりな工事になるので、それに支障がないかどうかという条件が一つでございます。

その条件をクリアしたというのが、教育委員会と危機管理監から来たのが淀川区では新北野中学校と美津島中学でございました。もう、2 つ目の条件が、最終的には災害対策本部である区役所と連携のとりやすい、はっきり言うと、近い場所にある中学校ということでしたので、これはもう、新北野中学ということで、既にこれはこの年度の初めに報告をさせていただいております。

このたび、松井市長のほうで、この際、中学校の生徒の熱中症対策で、全中学校にエアコンを設置しようというふうなことになりました。ただ、全中学校、一気にではできないので、まず、各区、今 1 校については、もう報告済みなんですけども、各区、あと 2 校、報告をしてくれということになりまして、今度は、そこはもう都市ガスなんで、比較的、もう工事の要件がないから、簡単に言うと、新北野を除く 5 校の中から 2 校を選んでくれということになる。残りのところも、1 年おくれですけど、設置するということになっております。

それで、これ実は、あしたの区長会議で各区に、それを 8 月 28 日までに報告してほしいという依頼をする文書なんで、実は 1 日フライングなんですけれども、これ、部会長のほうに一応、了解は得ております。

ということで、残る 5 校のうちから、あと 2 校を選ばなければいけないのですが、地域とか学校に聞きましても、絶対、うち先やってくれということにしかならないと思いますので、ここは申しわけないんですけども、私のほうで、投資効果といいますか、同じ空調をするのであれば、その恩恵を受ける生徒さんが多い学校からということで、生徒数が多いところから設置をしたらどうかというふうに考えております。

それからいきますと、結論から言うと、一番、淀川区で多いのが三国中学でござい

ます。2番目が新北野中学、3番目が十三中学ということですので、この報告につきましては、三国中学と十三中学を追加で報告をさせていただくと。結果的には、もう多い上位3校を今年度設計して、来年度設置する。残りの3校につきましても、来年度予算で設計して、令和3年度には設置するということでございますので、そういうことで報告をさせていただきたいと思っております、今日、区政会議の全体会議ということですので、皆様方にまず御報告をさせていただき、今後、順次、地域の会議でありますとか、校長会等々にはこういうことでさせていただきたいということで御報告をしようと思っておりますのでございます。

すみません、ちょっと私、与えられた時間を少し超過してしまいましたけれども、本日、いつものように、また真摯な御議論を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○久保政策企画課長

それでは、お手元の資料の確認をさせていただきます。着座にて失礼します。

まず、第1回淀川区区政会議の次第があります。その裏面に、全体会議進行表を印刷しております。続きまして、配付資料一覧、続きまして、委員の名簿をつけておりまして、その裏面に座席表をつけております。続きまして、机上配付資料、先ほど区長の説明にありましたように、中学校体育館へのエアコン設置の選定について、1枚物。続きまして、もと淀川区役所跡地に関する開発事業予定者をプロポーザル方式により募集しますという報道発表資料。続きまして、先日実施しました防災アトラクション実施結果につきまして、つけております。続きまして、淀川区防災ラインを始めましたというチラシ。続きまして、本日、御意見等、時間の関係で言っていない場合、ご意見票をつけております。続きまして、最新の区の広報誌「よどマガ! 8月号」、続きまして、区政会議アンケート、続きまして、淀川区役所運営方針評価シート、それと、返信用の封筒を机上に置かせていただいております。アンケートと評価シートに関しましては、会議の最後に説明させていただきますが、会議終了後に

御記入いただき、帰られる際に御提出いただくか、もしくは後日、返信用の封筒により御送付いただきたいと思います。

続きまして、資料1から資料5につきましては、事前に御自宅のほうに郵送させていただきました資料になります。いずれも右肩に資料番号を打たせていただいております。事前に送付した資料のうち、資料の1、2、部会の議事要旨につきましては、本日、会議の参考資料ではありますが、時間の関係上、個別の説明は割愛させていただきますので、御了承ください。

配付資料に不足のある方、もしくは事前送付資料をお持ちでない方がいらっしゃいましたら、事務局からお持ちさせていただきますので、挙手をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

本日は、前回の全体会議と同様に、部会ごとの小グループでお座りいただいております。お手元の資料、区政会議の委員の名簿をごらんいただけますでしょうか。委員の名簿の裏面に座席表をつけておりますので御参照ください。

本日、委員の名簿の順番にお読みさせていただきますと、欠席という御報告をいただいている方、新東三国の浅野委員、続きまして、北中島の和田委員、宮原地域の山本委員、西三国の新井委員、新高地域の岡鼻委員、以上5名につきましては、体調不良ということで、本日、欠席という御報告を頂戴しております。なお、十三地域、久本委員につきましては、到着がおくれているようでございます。

続きまして、淀川区選出の市議員の方に御出席いただいておりますので、当番幹事順に紹介させていただきます。

坂井議員です。

○坂井市会議員

ありがとうございます。

○久保政策企画課長

北野議員です。

○北野市会議員

皆さん、こんばんは。お世話になります。

○久保政策企画課長

寺戸議員です。

○寺戸市会議員

こんばんは。いつもお世話になっております。

○久保政策企画課長

なお、杉田議員及び山下議員につきましては、本日、公務のため欠席という報告を頂戴しております。

時間の関係上、区役所の職員の紹介は省略させていただいております。資料の座席表、裏面の座席表の職員名と役職をつけておりますので御参照ください。

本日の終了時間ですが、午後8時30分を目途に終わってまいりたいと考えております。御協力のほど、よろしくお願いいたします。また、発言、説明の際には、できるだけ簡潔にまとめていただき、スムーズな進行に御協力いただきますようお願いいたします。

なお、今回の全体会議が今期の委員の皆様が集まる最後の会議となります。そこで、委員の皆様には、会議の最後に御感想を一言ずついただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿いまして、3、議題に移らせていただきます。

ここからは、福岡議長、よろしくお願いいたします。

○福岡議長

それでは、議事を進めさせていただきたいと思っております。先ほどもございましたように、このメンバーでの区政会議、これが最終でございますので、思い残すことなく建設的な意見、積極的に出していただけましたらありがたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、座って進めさせていただきます。

次第に即しまして、3、議題を進めさせていただきます。

初めに、議題（1）の部会で出た意見を踏まえた平成30年度運営方針の振り返りについて、区役所のほうから御説明をよろしくお願いいたします。

○久保政策企画課長

それでは、前回の各部会において、平成30年度の運営方針振り返りに当たり、特に課題となっている点について御意見をいただいたところですが、その部会での御意見を受けて、区役所でどのように整理させていただいたか、資料3を使って簡単に各担当から説明させていただきます。

ではまず、具体的取組1-1-1、防災対策から説明させていただきます。

○畑中市民協働課長

皆さん、こんばんは。市民協働課長の畑中です。

私のほうから、防災関係と防犯関係をまず、御説明させていただきます。

取組内容1-1-1、防災対策としまして、防災意識は向上しているものの、実際に行動に移している割合との大きな乖離があるということで、例えば、7日間以上の食糧の備蓄や一般避難所、災害避難所、津波避難ビルの場所等の掲示といったことですね。こういう形をより多くの区民の方に内容を啓発するにはどうしたらいいかということでの御意見をいただきました。

これにつきましては、今年度6月のよどマガのほうで、こういう形で、「今、あなたの「防災力」をのばす時」ということで特集を組ませてもらいました。それと、お手元に資料をお配りさせてもらっていますけども、先週、8月4日に防災アトラクションということで、若年層を対象にした防災の研修を行うとともに、LINEのアプリをつくっているということで後ほど、こちらのほうから御説明させていただきますので、よろしくをお願いします。

続きまして、取組内容1-2-3、犯罪防止に配慮したまちづくりの促進というこ

とで、こちらにつきましては、防犯関係の講座等、実際、回数的には多くなっておりますけども、実際、回数とか増加しておりますけども、発生件数の減にはつながっていないという形での御意見をいただきました。

こちらにつきましては、高齢者のほうにつきましては、繰り返しで対応するのもいいんじゃないかということの御意見もいただきまして、特殊詐欺被害の防止の講座等、あとは敬老会等の地域の行事を活用して、高齢者に対して啓発を行うということの取り組みを行っていきたいと思っています。

また、子どもや女性の被害等の関係につきましては、こちらのほうの啓発も取り組んでいくんですけれども、今度、8月号の、お渡ししていますよどマガのほうにも載っているんですけれども、9月4日に「子どもの安全・安心フェスティバル」といった取り組みもやっていこうと考えておりますので、よろしくをお願いします。

それと、これは直接、今回の部会のほうで御意見いただいている話ではなかったんですけども、ちょっと御報告だけという形で、5月に滋賀県の大津市のほうで保育園児らが死傷するという、ちょっと痛ましいような事故がありまして、こちらにつきましては現在、大阪市の関係先、こども青少年局、それと福祉局、教育委員会等と区役所と、また、警察と国土交通省とが一緒になりまして、実際に未就学児が日常的に集団で移動する経路を今、緊急点検しているというような状況になっておりまして、こちらのほうについても今、取り組みを進めているところがございますので、御報告させていただきます。以上です。

○大畑保健福祉課副主幹

保健福祉課の大畑です。

具体的な取組1-3-1の地域における見守り支援体制の構築について、説明させていただきます。

部会では、地域福祉活動の参加を促進する方法と各地域での取り組み、ボランティア情報センター等の情報発信の効果的な方法につきまして、委員の皆様方から多くの

御意見をいただきました。

いただきました御意見を踏まえまして、今年度策定しました淀川区地域福祉推進ビジョンにつきまして、冊子を作成し、配布、よどマガ10月号に記事を掲載するなど、その周知に努めてまいります。

要援護者見守りネットワーク強化事業につきましては、継続して実施し、地域で生活される要援護者を適切な支援や見守りにつなぎ、誰もが住みなれた地域で自分らしく健康で安心して暮らし続けることができるよう支援してまいります。

各地域で活動される方への研修や活動報告会につきましても、継続して実施をしてまいりたいと考えております。以上でございます。

○榊原教育支援担当課長

続きまして、具体的取組2-1-1、民間事業者を活用した課外授業ヨドジュクにつきまして、課題について、部会のほうにお諮りしたところです。

ヨドジュクにつきまして、家庭学習の習慣づくりが重要と考えておりますけども、その場合に、保護者との連携が不可欠と考えておりますが、行政として、どのようなアプローチを行えば、より効果的に保護者の協力を得ながら、家庭学習に取り組む環境づくりを行うことができるでしょうかということでお尋ねいたしました。

部会の意見としましては、家庭学習を家庭に担ってもらおうというのは、ちょっと状況によっては難しいところがあるのではないかと。また、理解できていない点について、家庭学習でできるように実施するというのが大切ではないかと。個別カルテなどによって、家庭学習を指導させてはどうかということでお意見をいただいたところです。

それに基づきまして、自主的に家庭学習を行うことが難しい中学生につきましては、事業者において、義務的な課題を与えることを検討し、受講生の個々の学習状況を踏まえまして、スモールステップでの日々の課題を与えるなど工夫を行うことにより、受講生の家庭学習の習慣づけの向上を図るということを考えているところでございます。もう既に、塾事業者のほうにも、それは連絡しているところでございます。

また、2020年度におきまして、ヨドジュクにかかわらず、家庭学習の習慣づけの向上につながるような取り組みを検討する方針でございます。また、教育委員会のほうでも、タブレット端末による持ち帰り学習の試験的な導入が検討されているということも聞いておりますので、その動きも注視しながら進めてまいりたいと思います。以上でございます。

○大下保健福祉課福祉担当課長代理

いつもお世話になります。保健福祉課福祉担当課長代理の大下です。

私からは、具体的取組2-1-7、生活困窮家庭の子どもへの学習支援事業（子ども未来輝き事業）について、御説明させていただきます。

この事業では、子どもたちの将来において、貧困の世代間連鎖を断ち切ることをめざしています。そのために、子どもたち自身が置かれた環境などによって、社会の関心が薄い子どもや自己肯定感が低い子どもの学習意欲を呼び起こし、学力の向上につなげることを事業の特色としています。

主な事業内容は、学習指導員による学習指導、それと、体験学習、キャリア教育を実施しています。

体験学習では、夏休み等に子どもたちが自然と触れ合うような学習をして、やり遂げる達成感とか、社会への関心や自己肯定感の向上につながるような取り組みをしています。

キャリア教育では、大学生や社会人の体験などを聞き、多様な価値観を知り、社会性を育むことを目的として実施しています。

現在のこの事業の業績目標は、「事業に参加することが楽しいと感じられる子どもの割合」としてはいますが、この指標における効果測定は、一定、検証が完了したと思っております。そこで、この事業において、どんな指標であれば適正に事業を評価できるかということをお委員の皆様へ、教育・子育て部会でお聞きしたところです。

いただいた御意見としては、「事業に参加してよかった」というような指標にした

らどうかという意見をいただきました。よかったという肯定的な感情は、自分の可能性に気づき、自己肯定感の向上につながっているからこそ呼び起こされる感情と思いますので、2019年度運営方針の数値目標を「事業に参加してよかったと感じられる子どもの割合」としたいと考えております。

ここでちょっと訂正なんですけれども、資料3の資料で、事業者に参加してよかったというふうになっていますけど、事業に参加してよかったというふうに、誤記ですので、「者」を取っていただくよう、よろしく願いいたします。

私からは以上です。

○武田保健・子育て支援担当課長

淀川区役所保健・子育て支援担当課長、武田でございます。

私のほうから、具体的取組2-2-3、よどっこ子育て支援事業について、御説明させていただきます。

子育て支援室は、18歳未満のお子様の御心配やお悩みごとについて、しつけや発達などの相談業務、子育て情報の御提供、専門機関の御紹介などを行っております。これから、子育て負担感をさらに軽減してまいりたいと考えておりまして、そこで、区役所を初めとする社会との接点が少ない保護者の方には、どのようにアプローチするといったのかということをご第1回教育・子ども部会でお伺いさせていただきました。

その際に、子どもが生まれたときに限らず、子育て関連施設のマップなどを回覧板などで回してみてもどうでしょうかという御意見をいただきました。早速、回覧板や掲示板の活用を検討したのですが、必要枚数がとても多く、また、子育て世帯の情報収集は手元でお使いのスマートフォン等のほうが身近で便利なのではないかと考えまして、全戸に配布している区広報誌のほうに、子育て情報にすぐアクセスできるQRコードを10月号から掲載する予定としております。貴重な御意見をどうもありがとうございました。以上です。

○畑中市民協働課長

続きまして、取組 3-1-1、市民活動の理解促進ということです。

こちらにつきましては、淀川区は、転出入が一番多く、単身者世帯が非常に多いという特徴があります。新しく区民になられた方が日ごろから近所が声かけ等やっているというのを感じるようにするにはどうしたらいいか、また、地活協の認知度を上げるために、現在、区広報誌で「地活協ってなァーに？」という連載記事を上げておるんですけども、そのほかにも地活協の認知度のアップにつなげられるような対策はないかという内容を伺いました。

その中で、やっぱり若者、特に、淀川区におきましては若い方が多いという形も、転出入も多いというのがありますので、まず、若年層を対象にした区民アンケートを実施して、地域のつながりに対する若年層のニーズを的確に把握するという事に努めるということになっております。

もう一つ、転入される方につきましては、大阪市くらしの便利帳というのをお渡ししているんですけども、これは2年に一度、中身を変えるという形になるんですけども、次回の発行は今年度の下半期となっております、そこで地活協の紹介ページということを上げていきたいと思っております、それは、次の資料のほうになっておりますので御参照ください。

続きまして、具体的取組 3-1-2、地域状況に応じたきめ細かな支援ということで、地活協が設立されて約6年が経過しております。その中で、まちづくりセンターから今、どのようなサポートをするのが望ましいかということでの伺いをさせていただきました。

こちらについては、地域ニーズを正確に把握する、また、2018年に作成した地域カルテを基礎としまして、その内容の拡大を図るとともに、地域課題に即した支援を行っていくということを今年度も取り組んでいきたいと思っております。

また、まちづくりセンターのほうは、事業所の方にアンケートのほうを実際、調査という形でとらせてもらいまして、淀川区内で活動を行っている皆様と地域活動の連

携に関する調査を行って、今後につなげていきたいというようなことも取り組んでおるところでございます。以上です。

○福岡議長

どうもありがとうございました。

ただいまの区役所のほうからの説明に対しまして、委員の皆様方から御意見を伺いたいと思いますけども、どなたかございませんでしょうか。

どなたもございませんでしょうかね。

次に進みましょうか。

それでは、また、思いついたら、最後のほうでもう一度お聞きしますので、そのときによろしくお願ひしたいと思います。

議題2のほうに移らせていただきます。

本日は、部会ごと、小グループで意見を交換していただくわけでございますけれども、最後に各グループの意見を共有したいというふうに思います。区役所の職員の方も各グループに加わっていただきまして、資料4の1項目めの住民や様々な活動団体のつながり促進について、意見交換、情報交換を15分程度、お願ひしたいと思います。

情報交換に入る前に、区役所の方より、我々に意見を伺いたい内容についての説明がございます。15分ほどいたしましたら、各部会の議長さんから意見交換で出た主な意見の紹介をお願ひしたいと思います。そして、グループで意見をまとめていただく必要はございませんで、どんな意見があったかということの紹介をしていただきたいと思いますので、区役所の職員の方もグループに加わっていただきまして、意見交換を始めていただきたいと思います。

それでは、区役所のほうから意見を伺いたい内容について、御説明のほう、よろしくお願ひいたします。

○山崎市民協働課長代理

それでは、資料4のほうをごらんください。私、市民協働課長代理の山崎でございます。

資料4の、1項目め、住民や様々な活動団体のつながり促進のところについて、まず、御検討いただきたいと思います。読み上げさせていただきます。

区役所では、地域活動に参加していないものの参加意欲があるという住民の方々が一定数いるのではないかと考えております。地域課題の解決に向けて、地域活動や福祉活動への参加意欲がある方々、市民活動団体・企業、専門学校といった各種団体、それぞれのニーズを効果的につなげる、いわゆるマッチングするためには、区役所として、どのような取り組みを行っていくことが効果的でしょうかということについて、お話し合いをいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○藏本政策企画課担当係長

各テーブル、進行は事務局のほうでさせていただきますので、伝えたい御意見をいただいて、事務局のほうで板書をいたしますので、自由に意見を交換していただければと思います。よろしく申し上げます。

(議題(2) グループ討議)

○福岡議長

時間が来たようでございますので、よろしゅうございますか。まだまだ話があると思いますけども、時間が来たようでございますので、各グループの部会の議長さんから御報告をお願いしたいと思います。

それでは、まず、教育・子育て部会の泉水議長さん、ひとつよろしくお願ひいたします。

○泉水委員

こんばんは。教育・子育て部会の泉水です。よろしく申し上げます。

私たちが話し合った内容なんですけども、住民や様々な活動団体のつながり促進、どうしたらいいのかということで、まず、各委員のほうから、自分たちがかわるき

っかけ、最初にお聞きしまして、話し合いました。

子ども会からマッチングを行えるのではということ、子どもがいるから、子ども会に入ったというきっかけがありましたので、そこから広がっていくんじゃないかということがありました。

地域となじむには時間がかかったということで、やっぱり長年やっている人が各種団体とか地縁団体とか地域団体におられるんですけども、そこになかなかでき上がっているところに入っていくのは難しいということで懸念されているというのもあるのではないかとということです。

それと、町会のイベントや避難所等の情報を与えることをきっかけとしてみてもいいかということ、引越してこられた方が町会の会長さん知らないとか、避難所がどこにあるのか、どこになっているのかということも知らないということがあったということで、そういった情報をいろんな媒体を使って与えることを試みてはどうかということです。

それと、区役所はよどマガやチラシで情報を与えてみてはということで、よどマガのほうは全戸配布でされているんですけども、なかなか読んでいただけないのかなということもありますので、それをよどマガとかチラシで情報をもっともっと読んでいただけるような形にしてはどうかということです。

それと、区、町会、区民の流れで情報を伝えられればということで、もちろん、各町会のほうで住民たちの住んでいる状態とかもっと把握して、そこから情報を流していくということがもう少しできればなということです。

それと、若者のマッチングのきっかけの一つとして、スポーツも考えられるということで、自分の子ども、地域の子どもの伝わりやすいということで、自分の子どもを通じて、大人たちがそういった町会とか活動団体とか、そういうところに入っていききっかけになればなと思っております。

それと、町会や団体にとらわれず、軽く入れる組織があればということで、なかな

か各町会や各種団体とか、そういったところ、昔からずっと同じことを、イベントとかやっておられて、やらされてる感というところがたくさんあると思うんですね。やっぱり、新しく入ってこられた方には、なかなかそういったところに入れにくいということがあって、それとは別に気軽に入れるというか、気軽に活動できる組織みたいなものが一つあれば、また違う形でつながっていくのではないかなということもあります。

子育てから地域とかかわるきっかけとなるので、区役所は子育てサロンに力を入れてみてはという提案もございました。

以上、教育・子育て部会の報告です。ありがとうございます。

○福岡議長

はい、ありがとうございました。

続きまして、安全・安心なまち部会の泉議長さんから、よろしく願いいたします。

○泉委員

ホワイトボードに書いていることを読み上げながら、意見として出たことを御説明、御報告いたします。

まず、住民ニーズと企業ニーズの把握ということで、やはりニーズ把握が必要であろうということで、それをするには、例えばアンケート調査等であればという。この3割思っているというのは、ここにも、資料4にもありましたように、地域福祉活動に参加した人が16%で、そういう自分もできるという人が4割以上と、その乖離の3割の人がどうして行動に結びつかないかという分析も必要だろうなということで、地元では、なかなかそういう、難しいので、区のイベント等で大きいところから少しずつかわりをつくっていったらどうかというようなこと。

それで、地域の人が、初めての方にも、それぞれの一人一人に役割を与えてあげる。居場所づくりもそういういろんなところにきっかけづくりとか居場所づくりが必要ではないか。特に、男の人は入りにくいということで、それで居場所、入り口をつくってあげるということが必要ではないかと。

また、地域と企業できちんとすり合わせをすることも必要ではないか。また、ボランティアの人については、ボランティアをしているというスタッフだとわかるようにするというのも必要ではないかということがありました。

また、町会でもこの働き方改革もあったので、一定、60歳定年といいながら、働き方改革もあって、長期に、まだお勤めになる方がおるので、なり手がなかなか見つけにくいようなことが話し合われました。

あと、地域へのきっかけとして、私のことなんで、PTAの役員をきっかけに地域活動に入ったというのがありました。ただ、PTAに入らないけれども、おやじの会、自分たちの技術を子どもたちに生かせるということで、おやじの会という、PTAとは別の組織で、自分たちの技術が、例えば、大きなゲームをつくるというのがおやじの会では得意な人がいたりということで、それがまた、淀川区のイベントであったり、大阪市のイベントにも参加できるように今、なっております。

ですから、地域でやれることを発見するというのは、どんな人材がいるかというのを把握するのが必要ではないかと。例えば、技術、家でもできる、広報誌のデザインなんかができるような人もいらっしゃるだろうし、まちのお店の方に地域の見守り、仕事をしながらでも、地域で見守りができるようなこともあるのではないかと。ですから、一人一人が参加できるように、たくさんの役をつくって、入っていただくような形が必要ではないかと。

発信については、広報誌は当然あるんですけども、いろんな媒体を通じて、ここにも書いてありますけども、SNS等で発信していくということで、いろんなところで、きっかけで、そこから地域に参加できるような形というのが必要ではないかということと話し合われました。以上です。

○福岡議長

ありがとうございました。

続きまして、コミュニティ力向上部会の西尾議長さん、よろしく願いいたします。

○西尾委員

こちらでは、つながり促進についてということで、地活協とか社協、現存する社協とか連合とかいろいろありますけども、そういう団体との分担というか、役割というのがはっきりできてないという意見もございました。それを気にしてないというか、一緒に、もうやってらっしゃるといふ地域もありました。

それからあと、防災をキーワードに、いろいろな方を集めればいいんじゃないかなということも話が出ました。

それからあと、マンションとかなんですけども、新築というか、建てられている最中に、うちの町会では成功してまして、各戸、町会にも入ってもらってますし、最初は掲示だけだったのが、今は回覧も回せるようになりました。ところが、三津屋さん、名前を出して失礼ですけど、三津屋さんは、最初、オーケーやおっしゃってたんですけど、今ごろはもう、情報とか欲しがりはあるけど、なかなか入ってくれないというような実情があります。参加もされるのに、町会には入れないというような実情もあります。

それから、広報誌を全戸配布ということで配られておられますが、単身者などの多いワンルームマンションなどは、中にも入れない。入っても、ごみ箱に何日か後に捨てられているような状況もございますので、その広報誌を捨てられないように、うまく各戸に配れるようなもの、それからまた、インターネットとか、いろんな方法をもっと区役所さんも探っていただくとか、考えていただきたいなということが必要じゃないかなと思っております。

また、今、下に書いてあります、単身者がどうやって情報を得るかという話も出ておりました。私はもう最終手段として、転入されたときに、その受付でアンケートをいただくとか、そういうふうにするしかないんじゃないかなというのを自分では思っております。以上です。

○福岡議長

ありがとうございました。

他の部会の委員さんからの補足意見がございますでしょうか。こういうことを補足しておきたいというような御意見はございませんでしょうか。あるいは、他の部会の皆さんの御意見でも結構でございます。意見ございませんでしょうか。

ないようでございますので、引き続きまして、資料4の2項目めの児童虐待ゼロに向けた子育て支援について、区役所のほうからの説明の後、部会ごとの意見交換に移りたいと思いますので、区役所のほうから説明のほど、よろしく願いいたします。

○武田保健・子育て支援担当課長

それでは、児童虐待ゼロに向けた子育て支援について、御説明をさせていただきます。

大阪市では、平成21年度から28年度の間、大変痛ましいことなんですけれども、心中以外の児童虐待による死亡事例が25人ということになっておりまして、割合としましては、0歳児が68%、さらに、就学前の、小学校へ入られる前のお子さんでいいますと、88%を占めているということになっております。また、加害者としてしましては、実母が55%を占めているというようなデータがございます。

児童虐待を防止していくためには、妊娠期から子育て期まで、切れ目なくつながり、それぞれの時期にあった子育て支援が必要と考えております。

先ほども御報告しましたけれども、第1回教育・子育て部会で、社会との接点の少ない保護者へのアプローチ方法ということでお伺いしましたところ、同じく、御意見いただきましたのが、近所に気軽に出かけられる場所が必要であることとか、乳幼児健診時に区役所から子育て相談等の紹介をしてはどうかということで御意見をいただきました。

現在、各地域で子育てサロンを運営いただいていますし、乳幼児期の親子がイベントセミナーに参加交流できる子ども・子育てプラザとか、つどいの広場とか、子育て相談とか、保護者の方々の交流の機会がふえるように取り組んでおるんですけれども、

今後さらにふやしていくためにはどうすればよいのか、御意見、御提案をよろしくお願ひします。

また、母の負担を減らすためには、お父様でありますとか、家族全体で子育てすることが効果的と考えております。現在も、妊婦教室にお父様や家族での参加を呼びかけましたりとか、母子手帳をお渡しするときに、一緒に「パパと子手帳」という、本日、テーブルのほうにこれから配らせていただきますけれども、そちらのほうもお渡ししているんですけれども、さらにどのような取り組みが効果的なのか、御意見を伺いたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○福岡議長

ありがとうございました。

それでは、先ほどと同じように、15分程度、各テーブルで意見交換をしていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(議題(3) グループ討議)

○福岡議長

盛り上がっていると思いますが、残念ながら時間が来ましたので、先ほどと同様に、各部会の議長さんから、各テーブルのお話をしていただきたいと思います。

それではまず、教育・子育て部会の泉水議長さんから、よろしくお願ひいたします。

○泉水委員

すみません、3回しないといけないということで、ちょっと大変なんですけども。

児童虐待ゼロに向けた取り組みについてということで、委員の活動状況はということなんですけども、子育てサロンのほう、1回行けばよさを理解できるんですけども、なかなか2回目からとか、途中とかからという、初めて来る方はなかなか入れないという感覚があるそうなので、ちょっと難しいんですけども、強制的に1回目来なさいみたいなことがあれば、行ってみてよかったなということになるのではないかなということなんです。

利用して当然の状況をつくるべきということと、一覧表ではなく、具体的な日時とかを伝えてはということで、これはやっぱり広報的なことですね。こちらのほうをもうちょっとしっかりとやっていけばなという提案です。

父親限定の日などはどうかということで、現在、父親の方も子育てするために育児休暇等ありますので、そういった利用しやすい日程を設定して、父親と子どもが参加できることになっていけばなということです。

子どもが生まれた後のストレス軽減ができればということで、やっぱり、生まれたときにおなかの中にいるときはかわいいなと思うんですけども、いざ出てくると、一人生命がふえるということで、父親も母親もばたばたして、そういったストレスがたまっていくということで、その軽減ができればということです。

祖父母が遠くに住んでいる人に負担が多いということで、どうしても現在、核家族がふえていますので、そういった意味でも、昔でしたら、祖父母って、実家が近所にあたり、一緒に住んでいたりとかということで、そういったストレスとかも軽減できて相談もできるというところがあったんですけども、なかなか今、この核家族で相談するところもなかなかないということがありますので、区役所とか行政からも三世帯住居の推進等も一つの案ではないかということです。

三世代、おじいちゃんとお孫さんとかといった、そういったイベント等でサポートができればなという案もありました。

それと、予防策として、個人の悩みも聞ければということでありました。

それと、子育て前から情報を伝えるということで、小さいときから、生まれたときから、いろんな情報、これも広報になるんですけども、もうちょっとやっていけばなという提案もございました。以上です。

○福岡議長

ありがとうございました。

それでは、続きまして、安全・安心なまち部会の内容を、泉議長さんから、よろし

くお願いいたします。

○泉委員

先ほどと同じでホワイトボードに書いているとおりです。各小学校区に子育てサロンというのがあって、多分、月1回くらいですかね。その子育てサロンの存在はなかなか知っている人がいない。もっと周知する必要があるのではないかと。広報誌の中に、ゆめキッズですね、それで子育てサロンは広報しているということでありました。

それと、子育てサロンの開催時に、年に何回か、保健師の方にも来てもらっているので、もう少し来てもらえないかなというようなことも話し合われました。

あと、また子育てサロンで、ここもニーズ調査とかアンケートとか、あと相談先ですね。相談先の紹介なんかもできるのではないかと。サロンに参加する方は、大体母親中心になっているというような状況でございます。

それと、ふれあい喫茶というのも、地域で各小学校区であるんですけども、そのふれあい喫茶って、割りと高齢者の方が中心なので、お母さん版のふれあい喫茶といえますか、そういうのをしてはどうかというようなことが話し合われました。

あと、子育てサロンに行くということができない、しんどいとき、行きづらいというので、今、話し合ったのが、LINEで発信できたり、相談できるグループができたらいいのではないかと。

やはり、何度も言いますが、知らない人が多いので、何らかの周知方法を、媒体に回覧とかチラシ、今、掲示板にも掲載しているんですけど、なかなか目にとまらないようなことがありました。

一つ、ヨドネルで、あのおじさんは何でした、キャラクターは。

「夢さん」の子育て版のそういうもので、例えば、ヨドネルでしたら、9時になると夢さんから発信があるというのと同様に、子育て層にもそういうものやってみてはどうかというようなことも話し合われました。以上でございます。

○福岡議長

ありがとうございました。

続きまして、コミュニティ力向上部会から、よろしくお願いいたします。

○板谷委員

当部会では、子どもに声かけしても、子どもが返事をしないように指導されているというようなお母さんがおられるというような実態もあるというようなこと、それから、子育てサロンというのを開いてますけども、やっぱり月に1回とかいう形で、非常にいい仕組みなんだけども、もう少し回数、頻度を高められないだろうかというような話が出ました。

そういう中で、一つの成功例というか、非常にいい事例として、これ、木川南地区の話なんですけれども、子育てサロンの頻度を非常に高めている、週に1回くらいの頻度でやっておられまして、そこに民生委員、児童委員の方、あるいはそれを応援、サポートされる方などが集まられて、子育て層の若いお母さん方のいろいろなお話を聞いたり、あるいは、お母さん方同士の情報交換の場になっている。それが非常にストレスの発散の場にもなるし、子育ての情報交換にも当然なるしということで、非常にいい循環になっているというふうに聞いております。

また、もう一つ、私の地域、東三国の事例ですけども、これは小さな喫茶店、コーヒー店をやられているお店なんですけども、そこには若いお母さん方が、子育て世代のお母さん方が集まって、いろいろ情報交換をされているようです。また、手に一芸を持っているというか、ネイルをしたり、あるいは小物をつくったりというようなことをされていて、何か月かに1回、そういう売店とかバザーをやるとか、そういうようなことで、いろいろまた人が多く集まってくる、それがまた循環になっていっているというような関係ができているといういい例がございます。

それから、十八条第一町会の夏祭り、子ども夏祭りをやるんですけれども、そういうところで、またそのお母さん方が集まって、そういう売店を展開するというので、新たにまた人が、そういうことを聞きつけて集まってくるという関係をつくりたいと

というようなことをおっしゃっております。

そういうことで、少数の人の集まりというのが、コミュニケーションをとりやすいということ、そういうやり方も非常にいいやり方なんではないかなと。そういう中にまた区役所、行政側のほうに機会があればいろいろ来ていただいて、情報を提供していただくというようなことの循環ができれば、一つの制度として、うまくいくような仕組みができるのではないかというふうな話でまとめたいと思います。以上です。

○福岡議長

ありがとうございました。

部会の他の委員の方からの補足、意見がございましたら、どうぞよろしく願いいたします。

ないようでございますので、次に移らせていただきたいと思います。

3項目めでございます。若年層のニーズ把握についてでございます。区役所のほうから、説明をいただきまして、意見交換に移りたいと思いますので、区役所のほうから御説明をよろしく願いいたします。

○松尾政策企画課長代理

それでは、私のほうから、若年層のニーズ調査ということで御説明をさせていただきます。

前回、実施させていただきました部会でもいろいろ議論が出たんですけれども、やっぱり、若い方に何かやらしてもらおうと思ったら、一応、ニーズ調査が必要なんじゃないかというようなこともいろいろ言われましたので、今回、各事業において課題となっております、日ごろ、行政と接点が少ない若年層の方、特に、単身世帯の方へのアプローチを検討するための材料として、18歳から29歳を対象を絞った区民アンケートを実施したいと考えております。

そのアンケートの案につきましては、皆さんの資料の中に資料5というのが入っております、一応、区役所が今、アンケートの内容を案でつくっておりますので、そ

ちらのほうを見ながら、御意見をいただけたらなと思います。

内容につきましては、こんなことを聞いたらどうかとか、別の聞き方をしたほうがいいんじゃないかっていうようなことで御意見がありましたら、皆さんにお伺いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○福岡議長

ありがとうございます。それでは、先ほどと同様に15分程度の意見交換、よろしくお願ひいたします。

(議題(4) グループ討議)

○福岡議長

すみません、ここの班も盛り上がっているんですけども、時間が来ましたので、このあたりでとめたいと思います。

それでは、先ほどと同じように、議長さんから各テーブルで出た御意見をお伝えしたいと思います。それでは、教育・子育て部会の泉水議長さん、よろしくお願ひいたします。

○泉水委員

3回目です。若年層のニーズ調査についてということで、項目に関してお話ししました。内容として、避難場所を知っているのかどうかということで、先ほどもありましたけども、やっぱり地元に住んでいる、子どものときから住んでいる方はわかっている人は多いのかなとは思いますが、やっぱり単身赴任で来たりとか、そういった若年層はなかなか知らないのであろうと思うので、知っているかという問いかけはどうかということです。

行政の関心は低いかもということで、やっぱり僕たちも若いときに、29歳くらいまでですかね、結婚するまでは、ほぼほぼ区役所とか大阪市の行政への関心が低かったというのは、正直なところあります。今の若い世代も同じなのかなとは思っていますが、これをアンケートとしてとってみないとわからないのかなと思います。

あと、地域で活動したいかどうかということで、項目を入れてはどうかということです。

それと、興味のある活動に参加してみたいと思うかということと、それと災害時にボランティア等活動したいかということで、頻繁に起こっている災害、各所で起こっているんですけども、そういった被災地に行きますと、若年層の方がかなりの数、災害ボランティアに来られているというのを実際、私も見ていますので、そういった活動を、したいというのはおかしいですけども、したい人がいるのかなとは思っているので、そういった問いかけもしてみて、そこからきっかけづくりということでできたらなということでありました。

それと、区役所のこのアンケートなんですけども、区役所の窓口に来た人に待ち時間を利用して、そのアンケートを回答してもらうということはどうかということで、そのほうが回答率が多いのではないかという提案もございました。以上です。

○福岡議長

ありがとうございました。

引き続きまして、安全・安心なまち部会の泉議長さん、よろしく願いたします。

○泉委員

安全・安心の部会で、淀川区民若年層のアンケートのことなんですが、実は、アンケートの回収率を上げるためにというような、入り口から入ったので、例えば、選挙済証を持っていくと、お店で割引が受けられるようなことが過去にはあったということで、アンケートに答えると、何か特典をつけてもらえたら、回収率が上がるのではないかと。

アンケートには自由意見を入れるべきだと、確かに自由意見、入っております。ごめんなさい。自由意見は入っております。確かにそういうのも必要ですね。

回答した人には、またこれも、特典ですね、地域の祭りで特典をつける。焼きそばとかも書いておられました。あと、23地域、問1が、あなたのお住まいの地域を教

えてください、23地域あるので、地域対抗にして、回答率を上げるというのもどうかというような話。

あと、問5については、質問の設定が、知らないから難しいというのを追加したらどうかという。

あとまた、問18については、区役所の掲示板、地域の掲示板、いろんな回覧板、SNSとか言われてますけども、やはりアナログ的な掲示板も大切ではないかというようなことが話し合われました。

それとあと、くらしの便利帳の中にも掲示板を見ることによって、よりわかりやすくなるという、そういう掲示板を見てもらえるようなということを周知してはどうかというようなことが話し合われました。

あと、問5、問8につきましては、前向きな設問で、参加したくなるように、参加しないと遅れをとるみたいといいますか、ポジティブな設問設定のほうがいいのではないかというようなことが話し合われました。以上でございます。

○福岡議長

ありがとうございました。

次に、コミュニティ力向上部会の西尾議長さん。

○板谷委員

会長がのどを痛めてますので、引き続き。

私どものほうでは、アンケートの率を上げるための技術的な話として、4つほど意見が上がりました。

まずは、アンケートそのものに、アンケート在中というふうに書いていると、捨てられる可能性が高いですよということ。

在中と書いたら捨てられる確率が高くなる。黙って入れると。そういうことです。

2つ目が、プレゼントをつけるということで、抽出率を上げてはどうでしょうかと。何か粗品を提供しますとかですね。

それから、貴重な意見や特別に選ばれた方ですよというふうな、持ち上げるような書き方が一つのテクニックとしてあるのではと。

それから、そのプレゼントの一つとして、区で婚活パーティを開きますので、無料招待いたしますよというような、非常にレベルの高い提案の話がありました。

それから、抽出度を上げるという話として、分析の話として、単身者の分析、要はワンルームに住まれている方、多くが単身赴任の勤務で大阪に来られていると、そういった方が多いのではないかという想定のもとに、そういった方の意識がどういうふうになっているのかということ、より深く分析する必要があるのではないですかという話が出まして、それは、アンケートの中では、問2の「一緒に住んでいる人がいない」というところで、そういうデータを抽出して、細かく分析するというお話でありましたので、期待いたしておりますので、どうぞよろしく願いたします。以上です。

○福岡議長

ありがとうございました。

部会の皆様方からの追加意見、ございますでしょうか。

ないようでございますので、この意見交換は終了とさせていただきます。

この後、各委員から一人ずつコメントをいただくというようなことがあるそうですが、今までの議題につきまして、通して何か御意見、言っておきたいということがございましたら、よろしく願いたします。

ないようでございましたら、おしておりますので、これで終了して、役所のほうにマイクを返したいと思います。どうもありがとうございました。

○久保政策企画課長

福岡議長、議事進行どうもありがとうございました。

このままの状態を引き続き、進めさせていただきます。

委員の皆様、貴重な御意見、どうもありがとうございました。会議冒頭でも申し上

げましたとおり、今回の全体会議が今期の委員の皆様が集まる最後の会議となります。そこで、全ての委員の皆様方より、時間の関係もあるんですが、1人30秒ほどで申しわけないんですけども、御感想を一言いただきたいと思います。

教育・子育て部会から順番にマイクを回していきまして、最後に牧副議長、それと、福岡議長の順番という形で御意見を頂戴したいと思いますので、よろしく願いいたします。

なお、本日、5人の委員の方、御欠席なんですが、お二人、浅野委員と岡鼻委員から、皆様によろしくお伝えくださいという形でメッセージを預かっております。浅野委員からは、「3年間お世話になりました。ありがとうございました。」という言葉が頂戴しています。それと、岡鼻委員からは、「皆様、4年間お世話になりました。また、2年後に戻ってきたいと考えていますので、よろしく願いします。」というコメントを頂戴しております。

それでは、よろしく願いします。

○石田委員

子育て部会の石田でございます。問題が山積しているこの中で、さまざまな皆様の意見が聞けて、とてもよかったと思います。個人といたしましては、もっと勉強して、意見を反映できるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

○泉水委員

教育・子育て部会の泉水です。2年間どうもありがとうございました。お世話になりました。次年度も、もしかしたら公募で出しておりますので、また、この場に帰ってくるかもしれませんけども。また、この区政会議、有意義であったなと自分自身感じております。こういった区政のことに関して携わらせてもらうということは、自分の地域であったりとか、PTAのほうであったりとか、そういった地元のほうで生かす、一番の格好の情報かなと思いますので、またこれを生かして、さまざまな分野で生かしていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いします。それと、ありがと

うございました。

○福島委員

ありがとうございました。私も4年間になるんですけれども、長い間来ていて、なかなかわからないこともたくさんある中で、たくさん教えていただくことも、この場所でたくさんあったので、先ほど泉水さん、言われたみたいに、私も学ぶことのほうが多くて、また、地域でそれも生かしていける部分もたくさんありました。もう子どもたちも大きくなって、ちょっと手があいてきたからできるんですけど、さっきも言ったみたいに、子どもが小さいときって、こういうことに携われないので、実際、そういう大変なところに、またお返しできたらなというふうに思っておりますので、また、これからもよろしく申し上げます。

○中道委員

中道です。今年1年、初めてだったんですけれども、本当に緊張しまくって、自分で何言ってるか、よくわからないんですけども、皆さんに助けていただいて、来年度も一応、同じ公募でしてますので、もしかしたら、2年目あるかもしれませんので、また頑張りたいと思います。よろしく申し上げます。ありがとうございました。

○泉委員

三国地域活動協議会の泉でございます。三国の場合は、こういう区政会議はいろいろな人が経験したらいいということで、地域活動協議会の中から役員の方が順次、出ております。たまたま私は前任の方もこの安全・安心部会でしたけども、私も引き継ぎでしたので、次の方、また、新たな方になると聞いておりますので、またよろしく申し上げます。ありがとうございました。

○米山委員

野中地区の米山と申します。2年間の間、努めさせていただきまして、余りにも世の中を知らなかったと勉強になりました。今後とも、一つよろしく願いいたします。

○光在委員

加島地域の光在でございます。何か最初、場違いなところに来てしまった感がありましたが、この委員になりまして、すごい疑問点とか改めるべき点とかを多くの方が御意見を発せられて、ただただ驚きの感に浸っている次第です。これから私も、さらにできることを見つけて、地域の活動に頑張りたいと思っております。手始めに、私、地域の広報誌をつくっておりますので、先ほどの子育てサロン、それを目いっぱい広げていきたいと思っております。ありがとうございました。

○増田委員

公募委員の増田でございます。本当にたくさん学びがあり、地域にたくさん生かしていけるような場であったと思います。また、去年は、地震があり、台風があり、そういった災害の中でこの部会にいさせていただいて、議員の皆様と意見交換ができたことが本当に私の宝になっています。長い間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

○一丸委員

神津の一丸です。4年間、この区政会議に寄せていただきまして、ほかの地域はこういうことをされているんだな、また、市、区、こういう取り組み事業、支援事業をされておるんだなということで、区政を知るというよりも、いろんな事業、取り組みをされておるんだなということで、ひとつ勉強になりました。ありがとうございました。

○久保委員

木川地域の久保でございます。2年間、活動に参加させていただきまして、私ながら、いろいろ皆さんから勉強させていただきました。今後も、退任後も、少しでもお役に立てるように、自分なりに努力してみたいと思っております。どうも2年間、お世話になりました。ありがとうございました。

○西尾委員

コミュニティ力向上部会ですね。やっと言えました。条例ができる前の区政会議、

そして、条例ができてからの区政会議、長いこと、お世話になりましたが、本当に雰囲気の違いいろいろな会議がありましたが、とても勉強になりました。また、いろいろな方と出会うことができ、よかったですと思います。名前を言うのを忘れていました。すみません、新北野の西尾でございます。どうもありがとうございました。

○藤野委員

三津屋地域の藤野です。最初、安全・安心部会、そして、コミュニティ向上部会と4年間にわたって、2つの部会で勉強させていただきました。最初の2年間はいろいろな形で質問ができて、いろいろな疑問もあったんですけど、3年目、4年目に入ってくると、なかなか自分の知識のなさが出てきて、何とか勉強してと思って、もらった資料を、あの小さい字を読むのが苦痛でして、非常に苦痛な状態でして、何とか読み込んで、勉強していきなというふうに思ったものでございます。あと、これで一応、2年、2年で4年終わらして、次の2年は、もう年なのでないと思います。ただ、今回のこの4年間で、いろいろな形で勉強させていただいたというのが自分の宝となって残っております。大変ありがとうございました。

○川合委員

塚本地区の川合です。2年間、やっと物が言えるようになったかなと思うと、もうメンバーがかわるということで非常に残念なんですけども、次の2年間は何とか、物が言えるように頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

○板谷委員

東三国の板谷でございます。4年間でやっと人の前で物が言えるようになりました。同じことをこの会議で繰り返し、繰り返し、言っていたように思います。そのことが何か一つでも改善につながっていったのかなという気がします。これから、東三国でまた、いろいろ地域活動、励みたいと思いますので、また、皆様、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

○牧委員

木川南の牧です。2期4年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。前も申し上げたんですけれど、この淀川区というのは、東からはリニア新幹線が新大阪までというか淀川区まで、北は北陸新幹線が新大阪まで、南は関空からなにわ筋線を通して十三、いわゆる新大阪までですか、それで淀川区と。要するに、この淀川区がもう大阪の北の玄関口ではなく、関西の玄関口になるのかなというふうに思っております。そういうところの住民として、私ら、過ごしていくわけなんですけれども、これからも区役所なりと地域住民とが一体になって、この淀川区がよりよくなっていくように願いながら、卒業させていただきたいというふうに思っております。お世話になりました。ありがとうございました。

○福岡議長

西中島の福岡でございます。2年間、お世話になりました。ありがとうございました。この区政会議に参加させていただきまして、この淀川区役所というのが、これだけの多岐にわたること、業務を我々、区民の命を守る、安心して、安全で住めるということと仕事をさせていただいているということに触れさせていただきました。それをまた、こういうような会議で少しでもスパイラルアップしていこうという姿勢にも触れさせていただきました。それに控えまして、私がどれだけこの中で貢献ができたかなというものには、本当に反省をしているところでございます。

私らも、区政委員としましては、やっぱり地域とのパイプ役でもあるわけでございます。この会議に参加させていただきまして、地域における、役所がやってくださっていることを地域に持ち帰って、地域でやらなければならないことが多くあるということがよくわかりまして、それがどれだけできたかなということは、ちょっと疑問があるわけなんですけれども、地域において、区役所をバックアップするといったらおかしいかもわかりませんが、区役所のやりたいことを我々がサポートしていく、やっていくということをしていかなければならないなということを痛感した次第でございます。以上です。ありがとうございました。

○久保政策企画課長

委員の皆様、どうもありがとうございました。

最後に区役所から事務連絡をさせていただきます。資料もつけておるんですけども、手元のもと淀川区役所跡地に関して、プロポーザルの実施ということで、報道発表資料をつけさせていただいております。簡単な形ですが、6月28日に発表しまして、先日、7月25日、26日でも現地見学会、説明会も行いまして、複数の事業者の方にも参加していただいております。という形で、予定でいきますと、来年2月26日には、事業者を決定していく予定という形で進めておりますので、また、皆様に機会を見つけて報告をさせていただきたいと考えております。

続きまして、市民協働課から、2点報告をさせていただきます。

○岡田市民協働課担当係長

すみません、市民協働課防災・防犯担当の岡田と申します。簡単に説明させていただきます。

この防災イベントのアンケートの結果については、3月に行っていただきました区政会議のグループ討議の中で、防災イベントについては早い段階から広報をと、地域の防災を担う人材を選抜してと、地域のボランティアをした人の話を聞くとよい、淀川区で想定される被害状況を知ってもらうというふうな意見をもとに実施したところ です。

合計300人の方の参加をいただきまして、その結果はまた、アンケートを見ていただければというふうに思っていますが、その中に、地域の防災訓練に参加したことはなかったけれども、今後は参加したいといった方が60%を超える状態でした。かなり、今まで参加したことのない人が前向きになったというふうに考えております。これも、皆さんの御意見のもとに進めてきたところの成果だというふうに思っております。ありがとうございます。

それと、防災ラインにつきましても、QRコードをつけたり、さまざまな防災イベ

ントにおける周知を、というふうに御意見をいただいたところで、こちらは8月1日から本格稼働しております。ぜひ、今日は皆さんにスマホをこの場に出していただいて、登録をというふうに思っていたんですけど、ちょっと時間がないので、ぜひ、おうちに帰られるまでの間に、スマホを見ながら歩くのは危ないですけど、ぜひ、登録をしていただきますようによろしくお願ひします。以上でございます。

○久保政策企画課長

本日の議題については以上でございます。市会議員の皆様におかれましては、最後まで、お忙しいところ、御臨席いただきまして、まことにありがとうございました。

区政会議の委員の皆様は2年間、お忙しい中、区政会議に携わっていただきまして、ありがとうございました。また、引き続き、委員を続けられる皆様につきましては、10月以降につきましても、よろしくお願ひしたいと考えております。

次回の区政会議につきましては、委員の改選後、第2回の全体会議を10月から11月ごろに予定しております。日程については、また後日調整をさせていただきたいと存じます。お忙しいところ恐縮ですが、出席のほう、よろしくお願ひしたいと思います。

それと、本日、時間の関係で発言等ができなかった、質問があったのにとおっしゃる方につきましては、ご意見票をつけておりますので、記載の上、8月26日の月曜日まで、事務局までお願ひします。

もちろん、今、書いていただいて、お渡しいただくこともできます。また、返信用の封筒で後日、提出もよろしくお願ひします。

それとあと、2点、区政会議についてのアンケート、もう一つが、平成30年度淀川区役所運営方針評価シート、それぞれつけておりますので、これにつきましても、御提出をよろしくお願ひしたいと考えております。お帰りの際か、もしくは返信用の封筒で御送付をお願ひしたいと思います。

本日、お書きいただいてということであれば、出口付近に職員がおりますので、お

渡しいただければと存じます。

それでは、時間も参っておりますので、これもちまして、令和元年度の第1回淀川区区政会議を終了したいと存じます。本日は、長時間にわたりまして、どうもありがとうございました。

—了—